

# 2007 年度 第 15 回 日本線虫学会大会プログラム

9 月 13 日 (木)

13:00~14:00 総会

14:00~14:30 休憩、講演準備

14:30~17:15 一般講演

(座長 植原健人)

14:30 101 ○新屋良治・竹内祐子・二井一禎(京大院農) マツノザイセンチュウ (*Bursaphelenchus xylophilus*) 表皮上糖タンパク質のステージ間および系統間差異の検出.

14:45 102 ○田中龍聖・奥村悦子・吉賀豊司・近藤栄造(佐賀大農) *Caenorhabditis japonica* 耐久型幼虫のカメムシ随伴時および浸透圧処理によって変化するタンパク質の解析.

15:00 103 ○澤 進一郎(東大・理・生物科学) 線虫の植物感染に関与しうる CLE ペプチドの単離・解析.

15:15~15:30 休憩

(座長 荒城雅昭)

15:30 104 ○武田容枝・宮沢佳恵\*・村山徹\*・岡田浩明\*\*・中元朋実(東京大学・\*東北農研・\*\*農環研) 冬作カバークロープすき込みと牛糞堆肥施用後の大豆圃場における土壤の生物活性とリン供給能.

15:45 105 ○佐藤恵利華・Yu Yu Min・豊田剛己・高田敦之\*・武田 甲\*(東京農工大学 BASE、\*神奈川県農技セ) 土壤生物性診断指標作成にむけた土壤線虫群集構造と線虫害調査.

16:00 106 ○大場広輔・岡田浩明・阿部 渉(農環研) 群集分析における DGGE 法の精度—培養線虫を用いた検討.

16:15 107 ○岡田浩明・大場広輔(農環研) 群集分析における DGGE 法と従来法との比較—類似度の検討.

16:30~16:45 休憩

(座長 岡田浩明)

16:45 108 ○串田篤彦(北農研) 土壤線虫分離のためのベルマンロート法とトレイ法の比較.

17:00 109 ○奈良部 孝・植原健人・伊藤賢治(北海道農研) プラスチックカップ検定法を用いた土壤中のジャガイモシストセンチュウ密度推定.

17:15~17:30 休憩

17:30～18:00 特別講演

武田博清(京都大学大学院農学研究科 森林生態学研究室) 土壌分解系における土壌動物分類群の役割と機能.

19:00～21:00 懇親会

## 9月14日(金)

9:30～17:30 一般講演

(座長 水久保隆之)

9:30 201 ○岩堀英晶・立石 靖・上杉謙太(九州沖縄農研) 沖縄県の亜熱帯作物圃場等から分離された有害線虫.

9:45 202 ○上杉謙太・岩堀英晶・立石 靖(九州沖縄農研) 九州中南部における非耕地のネグサレセンチュウ.

10:00 203 ○荒城雅昭・小松崎将一\*(農環研・\*茨城大) 陸稲のオカボシストセンチュウ被害発生経過とその耕起の有無による違い.

10:15～10:30 休憩

(座長 岩堀英晶)

10:30 204 ○福澤晃夫・奥村宗平・若杉直樹・高木政志・福井溪太・奈良部 孝\*(道東海大工、\*北海道農研) ジャガイモシストセンチュウの孵化促進物質と共力因子の単離.

10:45 205 ○北野のぞみ・山下一夫\*(青森県上北地域県民局・\*青森県農林総研畑園試) イモグサレセンチュウのニンニクへの侵入と葉鞘内部への移動.

11:00 206 ○藤本岳人・長谷川周一・乙部和紀\*・水久保隆之\*(北大院農・\*中央農研) 土壌水の浸透に伴うサツマイモネコブセンチュウの移動 特性.

(座長 酒井啓充)

11:15 207 ○植原健人・伊藤賢治・奈良部 孝(北海道農研) ジャガイモシストセンチュウに対して抵抗性であるトマト品種について.

11:30 208 ○百田洋二・蔵之内利和\*・高田明子\*・中村善行\*・熊谷 亨\*(農研機構本部・\*作物研) サツマイモ品種のキタネコブセンチュウ 感受性.

11:45～12:45 休憩・昼食

(座長 奈良部 孝)

12:45 209 ○相場 聡(中央農研) 対抗作物の栽培と有機物施用がダイズシストセンチュウ天敵微生物に及ぼす影響.

13:00 210 ○北上 達・西野 実(三重県科学技術振興センター農業研究部) 食菌性線虫アフェレンクスと天敵糸状菌モナクロスポリウムの組合せによるトマトのサツマイモネコブセンチュウ被害抑制.

(座長 真宮靖治)

13:15 211 ○安松良恵・吉賀豊司・早川洋一・近藤栄造(佐大農) 昆虫病原性線虫の共生細菌が宿主昆虫に及ぼす影響.

13:30 212 ○吉田睦浩(中央農研) 日本産昆虫病原性線虫 *Steinernema litorale* の殺虫活性および生残能力.

13:45 213 ○小坂 肇・神崎菜摘(森林総研) 北海道で採集したヤツバキクイムシ類の寄生線虫.

14:00~14:15 休憩

(座長 小坂 肇)

14:15 214 ○軸丸祥大(広島県立総合技術研究所林技 C) *Hexameris* 属 シヘンチュウはマツノマダラカミキリ幼虫に何時侵入し、そして何時離脱するのか?

14:30 215 ○竹本周平(神奈川県立生命の星地球博物館・果樹研究所) マツノザイセンチュウの近交弱勢.

14:45 216 ○真宮靖治・吉田麻美\*・小林一三\*・太田和誠\*・星崎和彦\*(\*秋田県立大生物資源科学部) マツ材線虫病年越し枯れ木樹体内におけるマツノザイセンチュウ個体数の消長.

15:00 217 ○Rina Sriwati\*, \*\*, Masaaki Araki\*\*\* and Kazuyoshi Futai\* (\*Graduate School of Agriculture, Kyoto Univ., \*\*Agriculture Faculty, Syiah Kuala Univ., \*\*\* Natl. Inst. Agro-environm. Sci.) Species of *Ditylenchus* (Nematoda, Tylenchida) found in dead pine trees inoculated with the pinewood nematode.

(座長 吉田睦浩)

15:15 218 ○Majid Olia\*,\*\*, Masaaki Araki\*, Wasim Ahmad\*\*\*, Hirosuke Oba\* and Hiroaki Okada\* (\*Natl. Inst. Agro-environm. Sci., \*\*Shahrekord Univ., \*\*\*Aligarh Muslim Univ.) Phylogenetic analyses of *Mylonchulus* small subunit rDNA.

15:30 219 ○酒井啓充・中島 桂・平田賢司(横浜植防) ミトコンドリア DNA のネコブセンチュウ幼虫 1 頭からの PCR 増幅効率の検討.

15:45~16:00 休憩

(座長 三輪錠司)

16:00 220 長谷川浩一\*・○三輪さつき・三輪錠司\*\* (中部大生物機能開発\*・京大院農\*\*中部大院応用生物) 毒物に対する第 I 相および第 II 相酵素の応答.

16:15 221 ○井上靖・吉賀豊司・近藤栄造(佐賀大農) Rhabditida 目線虫の耐久型幼虫におけるドーパミンのはたらき.

16:30 222 ○魚 鎮宇・乙部和紀・水久保隆之(中央農研) 触覚が *Caenorhabditis*

*elegans* の移動と空間知覚に果たす役割.

16:45 223 ○奥村悦子・田中龍聖・吉賀豊司・近藤栄造(佐賀大農) *Caenorhabditis japonica* 耐久型幼虫の宿主探索行動.

(座長 近藤栄造)

17:00 224 ○持地信雄・長谷川浩一\*・三輪錠司(中部大院応用生物\*・京大院農)  
イネシンガレセンチュウおよびニセネグサレセンチュウの初期 胚発生と生殖様式.

17:15 225 ○長谷川浩一\*・三輪錠司\*\* (中部大生物機能開発\*・京大院農\*\*・中部大院応用生物) GST 発現制御に関する順および逆遺伝学的解析.

---